

平成 30 年 7 月 24 日

自己点検・自己評価

学校法人中川学園
広島福祉専門学校 日本語科
実施責任者：校長 中川 義基
実施担当者：事業部長 迫田 初江

《評価とその内容》

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない
2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等

1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2	学校の特色は何か	5
1-3	学校の将来構想を抱いているか	5
1-4	理念に基づく教育が行われているか	4

〈現状と課題〉

学校法人中川学園は、『愛と信念』の校訓の下に、福祉教育を実践する教育機関である。

学生・生徒に対する教育方針は、『1. 愛情、2. 厳正、3. 信頼』である。すなわち、教職員は惜しめない愛情をもって生徒に接し、正しいことは妥協せず厳しさをもって教え、それによって教職員と学生・生徒との間に信頼関係が芽生える教育を目標としている。

また、広島福祉専門学校は、中国四国地方では最も伝統のある福祉の職業教育専門校として、「愛と信念」の校訓の下、思いやりに満ちた福祉専門職を養成し、もって地域福祉に貢献することを目的とする。

日本語科は、母国語が日本語でない人に、介護福祉教育の前段階としての日本語教育を目的として設置した学科である。もちろん、進路変更にも柔軟に応え、他分野の上級学校への進学を目指す学生を含め、留学生が描く夢の実現に貢献できる学科を目指す。

2. 学校運営

2-1	運営方針は定められているか	5
2-2	事業計画は定められているか	5
2-3	運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	4
2-4	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	4

2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
2-7	危機管理体制は整備されているか	4
2-8	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	4

〈現状と課題〉

本校教育理念の下、毎年事業計画の策定、課題と目標を掲げ、定例会・毎朝の朝礼等により全教職員に浸透している。

本校は福祉の専門学校として日本でもっとも古くから運営しているものの、新設した日本語科にこれまで培った運営方法を全て適用することに無理が生じることもある。それらの一つひとつを整備していく途中である。

3. 教職員

3-1	教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2	教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
3-3	教職員評価を行っているか	3

〈現状と課題〉

教職員の全体ミーティングを通じ、学科の方向性を確認。

4. 教育活動

4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
4-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
4-4	成績評価は適切に行われているか	5
4-5	資格取得の指導体制はあるか	4

〈現状と課題〉

日本語の習熟度にもとづくクラス編成を行い、教務主任が全体のカリキュラム編成と授業日程の作成に直接あたり、初級、中級、中上級、上級の体系的なカリキュラムを編成している。

学生の成績については、クラスごとに日々小テスト、教材の一定の課ごとのテスト、初級・中級等の終了時の試験、さらに出席・宿題等の日常点を加味して評価する。試験の成績が低迷する学生には、その状況に応じてグループ・個別の補講を行う。

日本語能力試験、日本留学試験を紹介し、それらの試験に対応した授業計画を行っている。

5. 学生支援

5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3	学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5	保護者と適切に連携しているか	4
5-6	卒業生への支援体制はあるか	3
5-7	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
5-8	日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

〈現状と課題〉

基本的に全寮制となっているため、入学当初より生活環境の整備と生活指導、生活支援を行っている。学生寮の管理や学生の心身についてのサポートについては、長年福祉専門学校として培ったことを十分活かすことができている。

年一度の健康診断とは別に、福祉専門学校ならではの特徴である教員配置（校長は医師、看護師教員3名）により、日々の細かなサポートが可能となっている。

これらの条件とクラス担任、生活指導担当者のたゆまぬ努力により、今年度入学生全員の出席率は99.9%である。

学生に何らかの問題が生じた場合には、保護者や留学生送り出し機関に速やかに連絡し、連携して対処できる体制となっている。また、問題が生じなくとも日ごろから留学生の様子を報告し、母国関係者との信頼関係の構築に勤めている。

新規校であるため、卒業生を未だ輩出しておらず、卒業生への支援体制については評価が不可能。

6. 在留管理と生活指導

6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4	常に最新の学生情報を把握しているか	5

〈現状と課題〉

入館業務申請取次の有資格者を複数配置し、学校全体で入国・在留関係管理業務に対する理解を深めている。

担任、生活指導担当と所管警察署（海田警察）との連携による安全・防犯教育の実施や交通安全教室の受講などを行っている。

7. 学生の募集と受け入れ

7-1	学生の受入方針は定められているか	5
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	5
7-3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
7-4	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
7-5	適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

〈現状と課題〉

現地教育機関（大学、諸学学校）や留学生送り出し機関との密な連携と信頼関係を確立するために、各機関への訪問は手を抜かず、本校の考える留学生像を伝えていく。

入学試験は必ず現地に出向き、提出された書類に面接と筆記試験により厳正に選抜する。

8. 財務

8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

〈現状と課題〉

学校法人化後、既に27年経過し、財務基盤が強固である。財務会計は税理士事務所に委託しており、財務についての公開は控える。

9. 法令等の遵守

9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	5
9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	5
9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
9-5	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

〈現状と課題〉

法令等の遵守は言うまでもなく、福祉の伝統校プライドにかけて適正に運営する。

個人情報保護について、個人情報に関する基本方針、基本規則、取り扱いについての保護規定を策定遵守している。

今回初めての自己点検・評価の実施となった。今後も定期的の実施すること、今回浮かび上がった問題点の改善をしていくことなどに努めたい。

10. 社会貢献

10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2

〈現状と課題〉

学校行事を利用するなど、校内別学科の学生との交流に尽力している。

本校は新規校で入学直後の学生しか在席しておらず、近隣住民との交流やボランティア活動には未だ参加するだけの余力がないためおざなりとなっているが、今後の検討事項である。